

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2007-135803(P2007-135803A)

【公開日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2007-021

【出願番号】特願2005-332321(P2005-332321)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 B

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月14日(2008.10.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機前面部を構成し、取付対象に開閉可能に支持される遊技機前面体と、
同遊技機前面体を前記取付対象に対して施錠する施錠装置と、
押圧可能なスイッチ部を有し同スイッチ部が押圧されることで前記遊技機前面体が閉位置又は開位置にあることを検知する開閉検知センサと、

前記遊技機前面部に設けられた窓部を介して遊技機前方から視認可能な位置にて遊技を実行する遊技装置と、

同遊技装置を制御する制御装置と

を備えた遊技機において、

前記遊技機前面体に対して着脱自在なベース体に前記遊技装置及び前記制御装置が搭載された交換ユニットを備え、

同交換ユニットを、その外縁が前記遊技機前面体により形成される領域の外縁よりも内側に位置するように設け、

さらに、前記交換ユニットに前記開閉検知センサを配置すると共に、

前記取付対象と前記開閉検知センサとの間に介在するよう配置され、前記遊技機前面体が前記閉位置又は前記開位置のいずれか一方にある場合に前記スイッチ部を押圧し、他方にある場合に前記スイッチ部の押圧を止める押圧体を設けたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記遊技機前面体の背面には、その外縁に沿うようにして補強枠を備え、

同補強枠により区画された範囲内に前記交換ユニットを設け、

さらに、前記補強枠を後方へ突出するよう構成し、

同補強枠に、前記押圧体を介在させるべく他の部位に対して後方への突出量が抑えられた凹部を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記押圧体を、前記凹部に収容させて前記遊技機前面体に設けたことを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記遊技機前面体には、前記交換ユニットを回動可能に支持する支持金具を備え、

同支持金具により前記補強枠における前記凹部を挟んで対峙する部位を橋渡したことを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記押圧体を、前記遊技機前面体に設けたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 6】

前記遊技機前面体に、前記押圧体の背面側を覆う保護手段を設けたことを特徴とする請求項 5 に記載の遊技機。

【請求項 7】

前記押圧体は、回動中心となる軸部と、この軸部と一体的に回動する回動部とを備え、同回動部は、前記取付対象に当接する当接部、及び前記スイッチ部を押圧する押圧部を有し、

前記押圧体は、前記当接部が前記取付対象に当接しなくなることで、前記スイッチ部を押圧しない又は前記スイッチ部を押圧する初期位置に自重で復帰するように構成したことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 8】

前記遊技機前面体は左右方向の一端を中心として回動する構成とし、

前記施錠装置は、前記遊技機前面体の回動先端部に配置され、且つ、遊技機外部から解錠操作を行うための外部操作手段と、前記遊技機前面体の上下方向の一端側から他端側まで延びる長尺状であり、前記外部操作手段の解錠操作に連動して解錠側へ移動する移動手段と、少なくとも同移動手段の長手方向の両端側にそれぞれ配置され、施錠位置と解錠位置とに移動可能であり、前記移動手段の前記解錠側への移動に連動して前記解錠位置へと移動する施錠手段とを備え、

さらに、前記開閉検知センサを前記交換ユニットにおける前記遊技機前面体の回動基端部に配置すると共に、前記取付対象におけるその回動基端部にある部位との間に前記押圧体を介在させたことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 に記載の遊技機。